



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

2022

5

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 4月月例句会	19
川柳吟行会「ぼ」	25
十和田たてがみ川柳会 3月句会報	29
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	24
Infomation	31～

カンテラ

まきこ

川柳ステーション2022をやるかやらないか、やる
とすればどういうかたちにするか、そんなことについて
打合せをした。

メンバーがどこかに集まって打ち合わせてもいいのだ
が、会場となる青森市の新型コロナウィルス感染が高止
まりになっているのでリモート会議にした。

結果、今年の川柳ステーションは参加者が会場に集ま
るかたちで開催することになった。

従前のやり方そのままではできないので、少し工夫を
要する。

また、ウィルス感染が急拡大すれば突然中止になるか
もしれない。

ということで、コロナウィルスの感染がおさまること
を願うばかり。

それではカンテラに明かりを灯しましょう。

A群

ポップのリズムで朝の玉子とく	村上てる
冬眠から覚める 今年も出遅れる	斎藤泰子
しあわせをキュッと丸めている指輪	吉田吹喜
前頭葉のミラーボールが錆びてきた	三浦蒼鬼
親からもらった命を裏返す	田久保亜蘭
絶対に雲にも意思があるんだわ	田中 薫
枯れそうな昔話に霧を吹く	辻井洋子
忘れられ開かなくなったジャムの蓋	夏草ぶぶき
降参をするしかない雨が降る	鳴海賢治
もう少し生きられそうだ花瓶買う	葉 閑女
連休は終る毛玉取りはまだ	吉田州花

吉田州花さん、「毛玉取り」って何の「毛玉」を取る
んですか？普通「毛玉」は糸糸で編んだセーターなどに
できるものを言いますが、動物の毛が玉のように丸まっ
たものも「毛玉」と言います。まさか、馬とか熊の「毛
玉」を取るうとしているんじゃないでしょうね(笑)「連
休は終る」の次に「毛玉取りはまだ」が来るとは…。不
意を突かれました。

B群

ロシアへと向かう怒りのトルネード	吉見恵子
マカロンを一個買って義勇軍	石橋芳山
東には残念賞のような月	ひとり静
プーチンを殺した人に平和賞	村井規子
すみませんと桜に聞く愛され方	柳本恵子
斜陽から零れたしずくだったのよ	守田啓子
生乾きのまんま輪郭線細る	熊谷冬鼓
雑貨屋のR18曇茶羅花	須藤しのすけ
尾鰭ひるがえし完了形にしちゃえ	きさらぎ彼句吾
フライパンの隅で密談真つ最中	まきこ

まきこさん、すごい「フライパン」を所有しておられ
ますね。ところで「三密を避けよう」と声高に叫ばれて
いるコロナ禍の世に「密談」してるのは誰々ですか。そ
の中にプーチンというひとはいませんか？もしました
ら、火力を一気に上げてください。お願いします。

C群

食券を啜えて藪で待っている	安藤なみ
おろし金の現場を三つ持っている	小野五郎
わたくしの油膜を消してきた女	芝岡かんえもん
鮫の腹裂けばふたごの桃太郎	宮井いずみ
ウトリ口の角をまがってきた顔だ	米山明日歌

安藤なみさん、何の「食券」を「啜えて」いるの？「藪」っ
て、竹藪とか草藪の「藪」ですか？それとも蕎麦の有名店
「藪」ですか？で、何故「食券」を「啜えて」いるんですか？
両手が塞がってるの？それと、何を待っているんですか？
焼き肉定食？天ぷら蕎麦？それとも敵の誰か？と、こんな

に「？」だらけなのに、何となくこんなことあるかも、と思うのは何故でしょう。「食券」を啜えたなみさんが竹藪からヌツと出て来たらみんな驚くでしょうね(汗)

小野五郎さん、「おろし金」は広辞苑に「おろし・がね【下ろし金】大根・しょうが・わさびなどをすりおろす器具。表面に小突起が多数ある。」と出てくるあれですよね。その「おろし金」の「現場」が「三つ」あるのですか。「現場」って建設現場とか事故現場とかいろいろあるけれど、簡単に言えば、「おろし金」を使う、あるいは「作る」場所のことですよ。あれ？チーズをおろすのも「おろし金」というんだっけ？おっと、ネット検索したら「おろし金」って2万円超えのものもあるんだね。オソロシや！もしかしたら、五郎さんは「おろし金」作りの職人もやってる？

芝岡かんえもんさん、「油膜」って車のフロントガラスにできたり、タンカーから漏れ出た油が海面に広がるあれとかですよ。それがかんえもんさんの身体のどこにかかるとはですか…。待てよ、暑くなったり湿度が上がったりすると顔に皮脂が余計ににじみ出ることがあるな。それ用に「あぶらとり紙」というのが売られている…。

ということは、かんえもんさんに「油膜」ってあり得るな…(汗)で、それを「消しに来た女」がいるのですか。うーん、もしかしたらそれってヘルパーさんじゃない？

宮井いずみさん、「桃太郎」には子孫がいたの？それも「ふたご」。昔話の「桃太郎」は桃から生まれたけれど、最近の「桃太郎」は「鮫」の腹の中にいるのですか。「鮫」に飲み込まれたのかな？それとも「鮫」が親なのかな？昔話の「桃太郎」はお婆さんが川へ洗濯に行つて、流れて来た桃を割ったら出てきたんだけど、この句の「桃太郎」は、誰が「鮫」を捕らえて、誰が「鮫の腹」を裂いたんだらう。やっぱ、どこかのお婆さんかな。

米山明日歌さん、この句の「角」は「かど」ですか、それとも「つの」ですか？モリス・ユトリロの額に「ツノ」が生えていたなんて聞いたことないし、ユトリロはパリの街をたくさん描いているからきっと街角の「かど」だね。それで、明日歌さんの前に突然現れた見知らぬ男がいて、その顔が、ユトリロの描いたパリの街角を曲がって来たような重厚な顔をしていた。違う？そのひとつ、もしかしたら旦那さんのこと？

おかしな川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅4月月間賞

煎餅を割るとタクラマカンから月

小野五郎

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

満月で大安なのに待ちぼうけ
丹田の謀叛か進まない歩み
異常なしただけど蠢いてる異状
双子座の惹句カオスのど真ん中
もう少し生きられそうだ花瓶買う

先月号の
お気に入り
眠いなら白旗上げて寝ちまい
近頃そつてます。
土田雅子

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

連休は終る毛玉取りはまだ
夏至冬至浅いかかわり育毛剤
寒中の芽出しマザーリーフの葉
電話口ネグリジェ色の声になる
そこまでは知らないたんぽぽの素顔

先月号の
お気に入り
サーカスが時々やって来る仏間
仏間はそういう所です。訳あって仏間で寝ています。
むさし

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

アメーバになつて生き延びる覚悟
聴覚の鋭いところが短所です
さわるなぎけん帯電中の左腕
ドーパミンあふれ夕陽を沈めない
シンデレラの秘密兵器龍角散

先月号の
お気に入り
わかれないもういいでしょうとお雛様
これはもしかしてお雛様の言葉？1年の300日以上を一箱の箱の中に入れら
れて飾られた数日間こそ思いたくなるお雛様もいるのかもですね(笑)

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

聞きたいのはあなたのキスの長さです
海沿いの淋しさだけを残す人
フリルからはみ出てしまう今日の鬱
ユトリロの角をまがって来た顔だ
ぎりぎりの形で岸に立っている

先月号の
お気に入り
直線が引けない影がうるさくて
わかります。薄いと負けてしまふので、6Bくらいで引
いてしまいましょ。 辻井洋子

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

しあわせをキュッと丸めている指輪
洗濯物ここに居るぞとはためいて
最近の私は愛らしいだろか
春うらら酒と肉と罪悪感
深呼吸 緑の風が旨すぎる

先月号の
お気に入り
三分間待つてねすぐに化けるから
お化粧でさらに美しくなるには三分間では無理？では何
に化けるんだらうと思つたら(笑)
齋藤泰子

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

ロシアへと向かう怒りのトルネード
みかん伊予間レモンでこぼん青い籠
春光にうすく広げる我がみどり
黒土の手品上手と春うらら
生まれ変わるならやり直したき人間を

先月号の
お気に入り
サーカスが時々やって来る仏間
昔、仏間は神聖で怖かった。今でもサーカスがやってき
ますが、ご先祖様を大事にしているからでしょうね。
むさし

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

新しいコートが出かけたいと言う
げんかつぎいつものポスト花切手
寒い風ムードメーカーいなくなる
陽光が春の匂いを連れてくる
珈琲を前に何から話そうか

先月号の
お気に入り
おしまいをちゃんと見せないから続く
詰めが甘いんです私。
ひとり静

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

階段をのぼる朝日の使命感
食券を啜えて藪で待つている
なんとなく好きがいちばんの長持ち
引き出しを閉めると扉をかくのです
天井に陽炎 牧師は花粉症

先月号の
お気に入り
家族を終つとゴミだけがのこるじゃ？
ゴミですか。汗。
旅 男

石橋芳山

【いしばしほうざん・島根県松江市】

プーチンを刻んでツンドラに埋めよ
ドレミファの次は赤から青になる
カンパネラに渡すロープの端っこ
ワッフルの弱みを探しあぐねてる
マカロンを一個貰って義勇軍

先月号の
お気に入り

岩根彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

ウグイスの初鳴きイマジンが軋む
白モクレン笑わせたくて褒め殺す
タレントの歯並び阿蘭梨餅の餡
四畳半桜前線キナ臭い
京の七口茶漬けを所望してきはる

先月号の
お気に入り

この人を選んで今のくらしぶり
素直で飾り気がない作品、くらしぶりの平仮名表記が作者像。
瀧尻善英

上村夢香

【うえむらゆめか・山口県岩国市】

練習の成果しつかり初鳴きは
三回目ワクチン済んでぐいぐいと
巣籠もり中口はいつでも休みなし
夢は闊歩古都の空気を思いきり
寅さんに逢える土曜はうふふふ

先月号の
お気に入り

あなたってサインコサインタンジエント
今でも理系のお方に憧れています。
きざらぎ彼句吾

小野五郎

【おのごろう・青森県青森市】

目の前を横切って行く春霞
泡盛を飲むと信管外れそう
心臓より低い所で眠っている
着流しで戦場へ行くブーメラン
おろし金の現場を三つ持つている

先月号の
お気に入り

きざらぎ彼句吾

【きざらぎあくあ・青森県弘前市】

わたくしを信じられなくて手探り
つま先から春になってくれたんぽぽ野
寒晒し野晒し陰は風葬に
尾鰭ひるがえし完了形にしちゃえ
紅葉するほど歩きくたびれたわ
此の世

先月号の
お気に入り

逢いたさは塩でいただくのがベスト
Sin
…ですか…解凍後ためてみます。

木村 美映

【きむらびえい・青森県青森市】

降りやまぬ雨もやっぱりあるらしく
左膝を機械の体に変えました
再起動からの立ち上がりは重く
動かないCPUに45度チョップ
黒海を寄り切る怪層ラスプーチン

先月号の
お気に入り

オミクロン何を数えて過ごそうか
吉田吹喜
少なくともオメガまで行きますから、
気長に行きましょう。

熊谷冬鼓

【くまがいとこう・青森県青森市】

生乾きのまんま輪郭線細る
稜線を歩いた記憶あたためる
筋肉は杖と信じて一万歩
川沿いの巣立ち始まる散策路
替え芯はないけど今日のドア閉じる

先月号の
お気に入り

ひとと違う ルールはちゃんと知っている
斎藤泰子
平仮名のひと、一字空け、守るとは言っていないルール。
読み手の想像が膨らむ。

斎藤泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

冬眠から覚める 今年も出遅れる
春らしく自律神経立て直す
歳月を過信していたあとしまつ
腐葉土にそろそろなれる年月日
歩数計西へ西へと今日も行く

先月号の
お気に入り

友達が知人になるリトマス紙
一帆
逆もありってことで、よろしくっ！

友達が知人になるリトマス紙

【ともだちがしにんになるリトマス紙・青森県青森市】

友達が知人になるリトマス紙
一帆
逆もありってことで、よろしくっ！

先月号の
お気に入り

友達が知人になるリトマス紙
一帆
逆もありってことで、よろしくっ！

坂本清乃

【さかもときよの・青森県蓬田村】

トコロテン過呼吸続く冬の乱
ひと束の芹から香る春の風
蛇口爆発誰だ誰だと空睨む
情け無さ編んでセーターまだ出来ず
いいねいいね焼き餃子のネギ刻む

先月号のお気に入り

笹田隆志

【ささだたかし・青森県青森市】

春霞連絡船の着くコスタリカ
ボクは行く霧笛とともにウクライナ
志願兵のリストアップを糧にする
全方向に全方向に包囲せよ
窓際で一時停止する暴走車

先月号のお気に入り

芝岡かんえもん

【しばおかかんえもん・神奈川県横浜】

わたくしの油膜を消しにきた女
これまでもこれからもない微塵切り
落ち葉焚き恋の始末をしています
あっぱれにもつともつとと泡立て器
ゆらゆらのナックルボール古希にゆく

先月号のお気に入り

城後朱美

【じょうごあけみ・福岡県八女市】

平日の空はこんなに穏やかで
平日の午後に逢いたい漢がいる
こんな感じなんだ平日のハイキング
退職前に読む平日の過ごし方
三食作る平日を慈しむ

先月号のお気に入り

行いを責める頭痛がやって来る 村井規子
寒い朝のハイキングは頭が痛くなり、翌日まで治らない。

須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

真夜中の匂い小瓶で持ち歩く
占拠したサラダバーより帰還せよ
劇中のロミオ心音尖らせて
小5で教わる男の落とし方
雑貨屋のR18曼荼羅花

先月号のお気に入り

三月だ甘納豆を呼びたまえ 葉閑女
やっぱり春は甘納豆と上から目線ですよね！坪内さんもお一つ如何ですか？

瀧尻善英

【たきじりよしひで・青森県八戸市】

折り鶴を開けば僕の過去が見え
フラスコの中で悩んでいるケロピー
残照の窓へ明日の青写真
火だるまになって戦う正義感
しつけ糸緩めばラップ歌い出す

先月号のお気に入り

間がいいねちょうど噂をしてたこと 渡邊こあき
間がいいというのは皮肉 背筋がぞつとするタイミング。噂をすれば影がさす。って言うけど、噂話もほんとに……。ってどうですかね。

田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

優秀な家にトンネル掘りたいの
用件に同じ屋根から効果的
隔月にする双子座の偏頭痛
いつかは死ぬんだな親不知を抜く
親からもらった命を裏返す

先月号のお気に入り

達毘古

【たつひこ・富山県高岡市】

あざ笑う雪見だいふく踊り喰い
錬金術師です…元手がありません
法廷の服はゼツタイ白ですよ
人形の糸をたどれば同じひと
あめんぼになってイエスについてゆく

先月号のお気に入り

取り急ぎプロッコーとキャベツを呼ぶわ 岩根彰子
今の日本に必要なのはこの対応力ですね。

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

女狐が颯爽と花弁に埋もれてく
脱皮した抜け殻を探しているの
深呼吸その先の翠の予感
ちゅーもーく死語が写メだつてマジですか
絶対に雲にも意思があるんだわ

先月号の
お気に入り

音もなく去年の蝶が飛んでくる
5句 全部好きです。春春春。

柳本恵子

旅男【たびお・青森県五所川原市】

着たまんまアイロンかける五七五
かけた謎々で体が渴く まこと
「誠」と名付けられベシことのおお
ベキことが心臓を掴むピンチ先
少しのヘルプ名の如くアリナミン

先月号の
お気に入り

責任の所在ながいも擦ってみる
ながいもの粘りの中に責任感がある。

守田啓子

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

夜遊びが出来そうですか鏡みる
老人は溢れる春にめまいする
顔洗ひ今日も車輪はゆつくりと
枯れそうな昔話に霧を吹く
さざ波が起きそうだから雲の上

先月号の
お気に入り

後悔が三歩遅れてやって来た
そうですね、遅れてやって来てながく居座ります。

熊谷冬鼓

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

こころ辺あそこら辺でどこら辺
下半身と上半分を言い間違える
惜しむらく手の平ほどのキャパシティ
眠れない深夜のハッカつまようじ
覚悟を決めるまで腹をくくるまで

先月号の
お気に入り

ストローで水平線を持ち上げる
素晴らしい吸着力に脱帽！

岩根彰子

夏草ふぶき【なつくさぶぶき・青森県青森市】

ご無沙汰のあとに金平糖の雨
夕焼けが針で心を刺してくる
忘れられ開かなくなつたジャムの蓋
家の解体 赤毛のアンが手を振つた
家じゅうの鏡を壊して逢いに行く

先月号の
お気に入り

本心を言えば枯榴の美が裂ける
柘榴が裂けるほどの本心 想像しただけでドキドキが止
まらないく

きさらぎ彼句吾

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

降参をするしかないか雨が降る
「では、生年月日を言つて下さい」
その次は足の爪また切るために
「頑張るな」「頑張らないとだめなんだ」
ちやわんむししだれやなぎにさくらさく

先月号の
お気に入り

雪女になるかマッチ売りするか
インパクトありました。

まみどり

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

火を吐いて吐いてオンナの端くれで
煮溢したままで帰ると言われても
茹でられてしまった角が隠せない
均等に切れない愛を渡される
ゴネ得を許してあげる名残り雪

先月号の
お気に入り

ほめ言葉買いに行きます自分用
自分用のほめ言葉、私も買いに行きたいわ！

坂本清乃

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山田市】

猫坂の月を同封いたします
ふたりして月をぎゅつと引つ張つて
プチプチを潰す孤独な鎌の月
気づかれてしまった後の月の位置
東には残念賞のような月

先月号の
お気に入り

責任の所在ながいも擦ってみる
長辛つて聞いただけで、かゆくなりそつ。

守田啓子

まきこ【まきこ・青森県青森市】

言い訳は苦手ずるざるなめこ汁
したたかな風を味方に飛んでみる
春うららだあれもない袋小路
青空に映える今日のほめ言葉
フライパンの隅で密談真つ最中

先月号のお気に入り
ギザギザの今日を手早くリサイクル 辻井洋子
ギザギザにも気がつかなかったならどうしましょ
う???

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

いつときの桜で満腹になれば
葉桜の先の希望を見失う
期待したほどの刺激のない炭酸
諦めか妥協か今日の無味無臭
出かけよう春の匂いにくるまれて

先月号のお気に入り
大げさに笑って寒を切り抜ける 斎藤泰子
泣くよりは笑っていた方がいいに違いない、しかも大げ
さに。それでもしなきゃ崩れそつたもの。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

平和とはこんなものかと甲子園
釣りぐらいマスクしなくていいでしょう
プーチンを殺した人に平和賞
夢に出る真つ赤な月が抱く憂鬱
くじ運が良くてこの世にとりあえず

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

ダダ漏れの記憶いつたいどこへ行く
風呂敷では包みきれない大言壮語
真つ白な豆腐で洗う黒い腹
プーチンの野望を砕くのは何か
春よ来いコロナも戦も無しにして

先月号のお気に入り
幸せはちくわの穴の向こうです。 村井規子
そつだったんですか？今度ちくわの穴を覗いてみます。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

毛穴から落書きになる木の芽時
種芋の蔓の先から春の海
不器用でカーブミラーに映らない
ありのままの私の影が薄くなる
前頭葉のミラーボールが錆びてきた

先月号のお気に入り
猛省をして凍み豆腐になるところ 守田啓子
凍み豆腐の角は痛そつですね。反省のしがいがあります。

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

凱旋の帽子にかざる折れた角
南京町に身元不明のトラクター
ワシコフの髭から垂れてくる詭弁
鯨の腹裂けばふたごの桃太郎
クラスター爆弾なんて中央値

先月号のお気に入り
おしまいをちゃんと見せないから続く ひとり静
賢い人はボテテも別れ話もきっぱりジエンドできるのね。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

ポップのリズムで朝の玉子とく
カギ穴をのぞけば見えるゴビ砂漠
見上げれば高山稲荷月の道
合格の天にもものぼる気持して
やる気出るはじけています見た目より

先月号のお気に入り
金継ぎを所望左の膝頭 岩根彰子
私も左膝が関節症なのでよくわかります。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

父さんと似てる私の雪エリア
斜陽から零れたしずくだったのよ
もどれなくていいもどりたくない野道
忘却の延長線に置くすべて
春を追う歩幅どこかで果てる空

先月号のお気に入り
冬型の気圧配置が続く顔 むさし
コロナ禍ですからしょうがない。PCに向かってひとり
ニツと笑っているのね。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

ビー玉が転がるように春が来る
里桜日日是好日猫二匹
すみませんと桜に聞く愛され方
淋しさの強弱六四に分けておく
声殺し遠い世界の銃の音

先月号の
お気に入り

幸せはどの辺なのか砂時計
無心に落ちてゆく砂を見ると、心が和みます。
米山明日歌

むさし【むさし・青森県蓬田村】

プーチンの方程式の落とし穴
ワケもなく始まったのはヒトゴロシ
人間の皮を被った大統領
ウイルス・戦争・ウイルス・地震・ウクライナ
戦争のニュース見ながら食うミカン

ぴったりでした

おかげようき川柳社

4月例会会

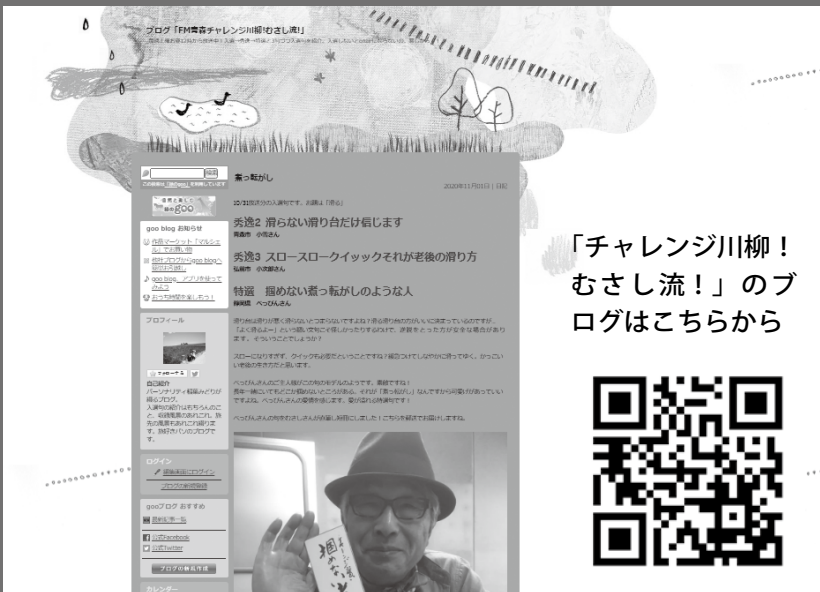
4月2日（土）午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者（11名）

土田雅子・熊谷冬鼓・渡邊こあき・葉閑女・野沢省悟・小野五郎・守田啓子・木村美映・布施協一・笹田隆志・むさし

▼投句者（27名）

達毘古・安藤なみ・米山明日歌・吉松澄子・芝岡かんえもん・宮井いずみ・岩根彰子・吉田吹喜・柳本恵子・三浦蒼鬼・旅男・城後朱美・郷田みや・斎藤泰子・村上あつこ・奈良一艘・まきこ・鳴海賢治・夏草ふぶき・まみどり・須藤しんのすけ・きさらぎ彼句吾・村井規子・ひとは・上村夢香・笹田かなえ・坂本清乃



「チャレンジ川柳！
むさし流！」のブ
ログはこちらから



席題『春』

青森県青森市 土田雅子 選

【佳作】

春ですねハートだらけのメールくる
 色褪せた噂が届く春の宵
 生きたいと病む友の声 春の雪
 くすぐつてきたわよ春の鼻の穴
 春よ来いオンライン停戦会議
 一行の余白が春を待っている
 ウクライナの眉間が春を呼んでいる
 雪融けを待ってたように請求書
 さくらさくら私の春を再起動
 ほどほどの春したたらせ来る手紙

【特選】

痛痒いところに芽ぶくふきのとう

『あのほろ苦さはそのせいだったのですね。』

席題『春』

青森県青森市 熊谷冬鼓 選

【佳作】

病院のはしご始まる木の芽時
 生きたいと病む友の声 春の雪
 くすぐつてきたわよ春の鼻の穴
 痛痒いところに芽ぶくふきのとう
 一行の余白が春を待っている
 二番目の背骨に春を住ませる
 堅いこと言わずに桜餅食べなさい
 さくらさくら私の春を再起動
 春の泥・ノビチョク・ロシアンルーレット
 春よ来いオンライン停戦会議

【特選】

ウクライナの眉間が春を呼んでいる

『一向に近づかないウクライナの春に気をむむばかり。』

宿題『メッセージ』

青森県青森市 野沢省悟 選

【佳作】

青、黄色身につけ平和への祈り
 砲弾の雨スマホからテレビからお父さん！瓦礫を揺らす叫び声
 北へ帰る鳥に仲裁託します
 行間に仕込まれている平手打ち
 買え買え買えCMすぐに踊りだす
 ガソリンも小麦粉さえも負のしるし
 助けてと叫ぶクラウドファンディング
 「言ってくれなきゃ通じません」古女房でも
 メッセージ無しで届いた赤いバラ
 お願いは欲張りません流れ星
 引き籠りつづきで鶴を折っている
 追伸の草書の文字を無視される
 さよならに気がつくように出すサラダ
 水仙が咲くとマニキュア慌てだす

土田雅子

宮井いずみ

笹田隆志

熊谷冬鼓

土田雅子

宮井いずみ

笹田隆志

村井規子

布施協一

城後朱美

まみどり

熊谷冬鼓

上村夢香

まきこ

夏草ふぶき

隣人のSOSに気付けない

『社会の今のあり様を鋭い一句とした。気づかないのではなく、気づく気がない。かも知れない。』

【地位】

本日も死者 折れ線グラフの数になる

【天位】

斎藤泰子

土田雅子

葉閑女

守田啓子

野沢省悟

野沢省悟

むさし

小野五郎

むさし

小野五郎

守田啓子

むさし

郷田みや

坂本清乃

吉松澄子

達 毘古

木村美映

岩根彰子

米山明日歌

米山明日歌

渡邊こあき

吉松澄子

柳本恵子

柳本恵子

小野五郎

柳本恵子

宿題『芽』

青森県蓬田村 むさし 選

【佳作】

根も葉もないうわさに芽が出てきたよ
 明解辞典によればあなたは悪い芽
 発芽したこと部外秘に願います
 福寿草咲いた戦争なぜするの
 木の芽時いつも捨てたくなる男
 角と芽のちがいが未だわからない
 とりあえず芽を出してから考える
 コロナの芽根こそぎ抜いてしまいたい
 芽が出たらみんな都会へ行っちゃった
 ふれてくださいそこからきつと芽が出ます
 発芽して銀河の旅を予約する
 雑草という草はないのだが 春
 カマキリの卵の中に紙風船
 芽吹いたら責任とってもらいます

鳴海賢治
 吉松澄子
 三浦蒼鬼
 鳴海賢治
 米山明日歌
 野沢省悟
 ひとは
 渡邊こあき
 斎藤泰子
 柳本恵子
 笹田隆志
 笹田かなえ
 夏草ふぶき
 まみどり

もう好きなことだけするわ木の芽あえ
 うなり声ためて膨らむ椿の芽
 未必の故意じゃがいの芽の取り忘れ
 芽を摘むどころか切ってしまうのも親です
 アスパラの畑へ生ハムを持参
 銃弾を潜ませているネコヤナギ

宮井いずみ
 米山明日歌
 宮井いずみ
 布施協一
 安藤なみ
 木村美映

【五客】

やっかいな芽には慣れてるふくらはぎ
 芽吹くので春を借りますわたし色
 国境に白墨の種蒔きに行く
 戦場の気づいてもらえぬ蕾たち
 猫柳芽吹きミサイル注意報

まみどり
 坂本清乃
 小野五郎
 熊谷冬鼓
 土田雅子

【人位】

木の芽時もう生娘じゃいられない

土田雅子

【地位】

散る覚悟出来たら芽吹く里桜

坂本清乃

【天位】

早々と芽吹いてそして踏まれてる

渡邊こあき

↑早すぎるって、そうなんだよな…。

宿題『自由詠』

青森県青森市 小野五郎 選

【佳作】

自販機の前で夜更かししています
 取り込み中ですねとカラスに覗かれる
 アルバムを閉じる見知らぬ人ばかり
 泥濘みの海を引つ張りあげている
 前期高齢昨日は星を産みました
 背のウロコ逆立て写楽になってゆく
 別売りの電池みたいね逢いたいね
 生涯の半分眠っただけのこと
 ひこばえの多いいほうが私の木
 締め切りが小さい海のまま消える
 縄文の空の異種交配の痕
 だからってお粥になるには早すぎる
 スマホのひかり前頭前野焦げている
 泣くんじゃねえよ残像なんか抱きしめて

まみどり
 熊谷冬鼓
 葉 閑女
 芝岡かんえもん
 ひとは
 むさし
 守田啓子
 野沢省悟
 米山明日歌
 須藤しんのすけ
 守田啓子
 奈良一艘
 坂本清乃
 むさし

ミサイルを水鉄砲でむかえうつ
 ゼレンスキーな春だ正しい嗅覚だ
 雪回廊ここを抜けねば逢えません
 日没の水平線に触られる
 「さよなら」の音は静かに二回鳴る
 走り出す前に鼻毛は抜いておく

柳本恵子
 守田啓子
 斎藤泰子
 守田啓子
 須藤しんのすけ
 まきこ

【五客】

仰向けになると地球がのしかかる
 怖いのよ逢えないことも逢うことも
 思ってもいないことさえ言える齡
 結局は箱の中には空の箱
 折り鶴をひらけば零れ落ちる砂

野沢省悟
 米山明日歌
 斎藤泰子
 郷田みや
 米山明日歌

【人位】

誤作動を繰り返しても進んでる

夏草ふぶき

【地位】

枝折れた桜に紅を引いて居る

坂本清乃

【天位】

四百字ぴったりでした恋終わる

吉松澄子

↑意味深長な作り方。うまくまとめた。

深艘心理

長茅は千切りでとどめを刺すわ

田中薫

(会員雑詠集 無人駅3月号より)

ナガイモは、ヤマノイモ科ヤマノイモ属のつる性多年草。または、その肥大した担根体の通称であり、そのトロトロとした粘りと食感独特のものがあり色々な調理法がある。そのあっさりとした食味は煮物にも向いているし、ステーキや豚バラ肉を巻いて焼き、甘辛の醤油味をまぶすなんてのも酒のアテには最高なのである。

で、掲句だが：最初見た時は、ふーむ、ナガイモは配偶者のことであり、原因は分からないがその配偶者と何かの諍いがあり、多分だが配偶者のマザコン的などっちつかずの態度にブチ切れてその怒りを千切りという行為に走らせているのだからと読んでいた。ま、普通にだ。

ここで一艘流の深読みをしてみる。

実は掲句のナガイモは配偶者ではなく作者自身の姿なのだ。あっちへトロトロこっちへへると人

には負けない粘りはあるものの、人の良さが仇になり頼まれればなかなかイヤとは言えずハッキリとお断りする勇氣に欠けていた自分。断れば友達関係に溝ができてしまうのではないかとついつい弱気になり何でも引き受けてしまっていた自分自身に今猛烈に腹を立てているのではないのだろうか。

そこで自分改革の一環として先ず心のナガイモのネバつきを抑えるために荒く千切りにし、さつと水洗いをして粘り気を軽く洗い流し、とどめとしてサツパリ、シャキシャキとした切れのいい男前の千切りナガイモとなることにこの度は決心した次第なのであります。

どーよ！「あ、いや違うんです、あれはですね」なんて野暮なことは言わないでくれ給え。

手や口の周りにイガイガとした痒みが残るだけです。あっはっは。

― 参加者募集 ―

川柳吟行会「ぽ」

課題『港』

そもそも吟行して作句、合評する会だったのだが：コロナ感染拡大で吟行はかなわずネット中心の投句、選評会となった。この形にしてかれこれ一年になるが感染数は高止まり状態。当分このまま続きそうである。3月の合評も集まることできず見送りとなった。

今回の投句参加は18名で54句。課題の「港」は抛り所であり、旅立つべき場所であり、温かく迎えてくれる場所でもある。作者にとつての港のさまさまが垣間見えたのではないだろうか。そろそろ外に出かけて仲間とワイワイしながら吟行したいのだが。(冬鼓)

【9点】特×3・佳×3

船が出る残り時間を積み込んで

吉見恵子

【こあき】もちろん自分も一緒にですよね。残り時間だけ持っていかれたらどうしよう。【さち】出港の心準備

をしておきましょう。悔いのない時間をたつぷりと。【州花】生れてしまえば、あとは残り時間しかないのかもしれない。【啓子】そうだつ！時間を荷造りしちゃう手もありますね。大切な時間です。【冬鼓】残り時間を思うと今しかない！と船出。背を押したくなる句。【五郎】人生の一面を的確、明瞭に表わした。

【7点】特×3・佳×1

少年が涙袋から出港

滋野さち

【吉見恵子】雨降って地固まるで、成長した少年の旅立ちですね。「涙袋から出港」が絵画を見るようです。【彰子】出港の場所が涙袋、港の所有者が少年、なんて素敵なんでしょう。繰り返し読んでも少しも痩せる事も飽きる気配も感じさせない力技。【規子】誰もいない港で、泣くだけ泣いたら前進め。【冬鼓】少年の巣立ちを見送る作者。あんなに泣き虫だったのに。

【5点】特×2・佳×1

母さんを風待ち港にしてごめん

滋野さち

【達昆古】港が消えたら暴風が四方八方から。風を待つほど快適な港だった、ごめん。【旅男】母港の宿命だから謝る必要はないと思いますが？むしろ頼られてうれしかも？でも、何時までも母さんてのはどうか？【隆志】母をおもう気持ちがよく表現されています

桑港、鳥になるなら右手から

月波与生

【啓子】サンフランシスコへ鳥になれば行ける。人間としての窮屈な日常をしばし忘れて少しづつ鳥になる準備。【柳本恵子】サンフランシスコの港で鳥になってみたいと思いました。【吉見恵子】いつか鳥になってサンフランシスコへ飛んでゆきたいと。右手にはどんな切符を握りしめているのでしょうか。

3号埠頭トウゾクカモメ密談中

小野五郎

【紫の園】トウゾクカモメが埠頭で密談とはなかなかのアイデアで、何の相談をしているのか面白いです。誰かを想像しているのかしら。【冬鼓】感情の見えないプーチン大統領の目と盗賊鴉の目がリンクした。密談してる

のは悪魔か。また北に向かって一羽飛び立った。【柳本恵子】人も荷物も、トウゾクカモメも集まって何やらはじまりそうな予感がする港ですね。

【5点】特×1・佳×3

帰ってくるだろう私が港なら

吉田州花

【朱美】言い切ったその自信はどこから来るのか。それとも不安で一杯なのか？港にはなれなかった私。かなしい。【達昆古】なら帰ってくると思います。【旅男】自信たっぷり。ちよつとやさぐれ感有り。明快が良い。【さち】自覚と自信があればきつと帰ってきます。

【3点】特×1・佳×1

泣き虫が集まって集まって 港

守田啓子

【隆志】港には涙がつきものですが、別れをこれほどうまく表現した句はありません。【柳本恵子】見たことがある人も、ない人も、ええ、私も。涙の港ですものね。

【2点】特×1

空を買う阿久根大島棧橋で

宮井いずみ

【与生】阿久根大島は日本で一番空に空に近い島かも。

港を失くし港にはなり損ね

旅男

【達昆古】現在地。今後、私は港になれるのか？【こあき】共感しました。

仏壇にオデッサ港の大階段

小野五郎

【与生】オデッサ港はわかるが仏壇、大階段がよくわからない。時事句にするのかしないのか。どちらかひとつにした方がすっきりと伝わるだろう。【いずみ】戦艦ボチヨムキンの虐殺と同じことが今ウクライナで起きている。仏壇に手を合やすように平和を祈る作者。

塩せんべいをバリツ如月の港

福田文音

【朱美】何かを決断したようなバリツ！に参った。【こあき】2月の寒い港でせんべいをかじる元気、うらやましいです

プーチンの頭の中にある港

村井規子

【吉見恵子】正に今の世を騒がす時事川柳。本当に何を考えているのか、平和を脅かすこの野望の港は危険です。【啓子】想像するのも怖い。和解、停戦、平和を祈ります。

【2点】佳×2

看板で治る「港町接骨院」

達昆古

【彰子】今、ぎっくり腰の最中、絶対行きます。「港町接骨院」へ。【規子】都会の大病院より頼れる赤髭先生がいそろう。

風邪が治ったら港を出ていくわ

城後朱美

【彰子】風邪は3日から1週間で治るでしょう。後ろ姿が颯爽としています。【州花】そう思っていたけれど風邪を引いたまま出るべきだった。

春疾風港は開けて来る兆し

福田文音

【紫の園】港がすっかり開けているから、春の疾風の兆しと感ずる嬉しさが隠れて表現されている。【さち】待ちくたびれたけど空はまもなく明けて来ます。

【1点】佳×1

最果ての港海猫一羽鳴く

柳本恵子

【五郎】昭和の歌謡曲の一節、恋愛映画のワンシーンを想起させる。

愛人と子無し本妻対岸に

村井規子

【与生】ドロドロ劇。子無し本妻という言い方にトゲがあるので作者は愛人派か。「港」の題でこのシーンを持ってきたか、的な。

すべからく漁港ぞ野つ原の土管

岩根彰子

【いずみ】原っぱに放置された土管と漁港の取り合わせに説得力がある。

フロイト的さよならの変化 船が出る

柳本恵子

【隆志】フロイト的さよなら、がとてもいいですね

港には待ってる人がいてほしい

渡邊こあき

【規子】日本人はやっぱりそう思う。同感。

港には戻れぬ舟がある一つ

城後朱美

【旅男】「舟がある一つ」が引っかかる。難破船で無いなら言い換えた方がいい。「啖呵をきった舟」とか：すみません。

たそがれの港を灯す観覧車

宮井いずみ

【州花】横浜の馬車道通りのホテルからの観覧車。

お雛様飾ってあります宇宙ステーション

柳本恵子

【朱美】この発想は皆を幸せにする。文句なし！

すみません箱舟の棧橋ここですか

小野五郎

【紫の園】箱舟に乗るために、棧橋を訪ねている発想が現実味を帯びて、素敵です。

十和田たてがみ川柳会三月（誌上）句会

【参加者】磯島雅男・木村奈生美・斉藤蛙井・佐藤まさあき・城後朱美・瀧尻善英・中村英三・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

■課題 『消える』

久保あざみ 選

【平抜き】

夫婦げんかしてる間に月消える	城後	朱美
ジャンボくじ鼻ちようちんと共に消え	村上	昌子
またひとつ消える日本の原風景	佐藤まさあき	
青春の灯消えぬ趣味がある	高田	幸柳
安倍さんよモリカケサクラ消えないよ	福田	芳記
貧しさが消えたが心寒くなる	斉藤	蛙井
金メッキ消えて年時は意地の域	磯島	雅男
テレビ音消える耳鳴り予想外	磯島	雅男
また漢字忘れ消えたよ白いメモ	斉藤	蛙井
菜の花に見えては消える遍路笠	佐藤まさあき	

【特選】 国境を消せば紛争など起きぬ

瀧尻 善英

■課題 『記者のペン』

斉藤 蛙井 選

【平抜き】

責めるのは逃げた小鳥じゃなく自分	高田	幸柳
妥協してだんだん消えていく個性	瀧尻	善英
【秀逸】 傷跡が一度に消えるもの有れば	木村奈生美	
魔法なら今すぐ消せるロシア軍	福田	芳記
若妻と二人の子あり記者のペン	城後	朱美
プーチンの蛮行あばく記者のペン	福田	芳記
ロシアでは曲げられている記者のペン	佐藤まさあき	
記者のペンZの罪を太く濃く	高田	幸柳
フェイクには負けぬ正義の記者のペン	佐藤まさあき	
タレントの明日を消し去る記者のペン	城後	朱美
ペン持てば真実となる恐ろしさ	中村	英三
真実を追って揺るがぬ記者のペン	瀧尻	善英

■会費拝受【3月受付分】

木村美映・村上てる・吉見恵子（以上青森市）/ 田中なお・大西進（以上愛媛県）/ 米山明日歌（静岡県）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

--- 終着駅 Sin ---

◆4月初旬からメールが受信できなくなっていたことに気づかず、連休後に慌ててエラーを解消させて、やっと編集することが出来た(汗)発行が遅くなってしまって、誠に申し訳ない。川柳関係のメールだけが受信できなくて、他のメールが届いていたのも発見が遅れた原因のひとつで、あとは、それまでのんびりしていた私が最大の原因です、すいません m(_ _)m ◆話変わって(笑)、連休前半、まだ早いかなと思いつつも南に向かえばなんとかなるだろうと思い、藤棚を見に行こうと仙台市に出掛けた。車で高速に乗って、運転しながらニュースに耳を傾けていたら、そのタイミングで、「BA.1」と、より感染力が高いとされる「BA.2」が組み合わさった、新たな変異ウイルスが仙台市で初めて確認されたというではないか。悩んだが、藤棚は外だから大丈夫だろうという判断のもと、そのまま向かうことにした。宿もとっていなかったため、途中、途中のSAで宿を探し予約したのだが、何も考えずに「うみの杜水族館」のチケット付きの宿泊プランに食いついてしまったのである。その後の道中、(水族館は

子供が多くて、やばそうだな…)と少し後悔しながらも、(さっきのニュースが流れたら、そんなに仙台市民も出歩かないかも)という少し楽観的思考で向かったのである。目的である藤棚はやはりまだ仙台市でも早かったようで、いわゆる「映える」瞬間ではなかった。それでも「鬼滅の刃」人気は健在で、藤棚は全国どこでも人気らしく、私が行ったところも漏れなく入場者は多かった。次の日の朝、懸念していた水族館に向かうと、開館直後というのに駐車場は満車状態で、水族館に足を運ぶ人たちの多さにもちょっとたじろいだぐらいである。それでもチケットを捨てて入館しないという選択肢はもう無く、腹を決めて入館した。それでも、中に入ってみると、混んできるといってもなく、ちょうどタイミングよく、イワシの大群ショーが始まるというので、前列に腰をおろして楽しんで観たのだが、ショーが終わって後ろを振り返ったら、とんでもない密な観客数で、(こりゃ感染したな)と覚悟した瞬間であった(笑)と同時に、いろいろなものがリスタートしていることに単純に嬉しくもあった◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2022.05.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(7月号分)

【締切】5月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】7/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2022.06.04 おかげょうき川柳社本社6月句会

【時】6月4日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】6月3日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『やれやれ』/『屋』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句「色を使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com (守田啓子) ■句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2022.06.08 「川柳吟行会 ぼ」6月句会

【投句締切】6月8日(第2水曜日)【題・投句数】『雨』3句【合評会】6月15日(第3水曜日)アウガ5階で14:30～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならおかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2022.06.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(8月号分)

【締切】6月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】8/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



おかじょうき川柳社：誌上句会

0 番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者（2句詠・共選）

題：『動』

7/31 〆切

選者

ひとり静 (奈良県)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/toku/0line.html> へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、**守田啓子宛**にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈） *発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。